

## スクール水着はいや

小学校六年

この夏、ぼくの学校では三年ぶりに水泳学習が行われることになった。すぐうれしかったが、水着のことが心配になった。

「スクール水着はいやだな。男子の水着は上着がな  
いから」

と思った。

そんな時、ネットニュースの中に、ジェンダーレス水着のニュースを見つけた。ぼくは、とてもいいなと思った。なぜかという、男子の水着にも上着があるからだ。記事には男女の区別がなくてよい、体型が分かりにくくてよい、日焼けを防止できるなどのよいところも紹介されていた。でも、デザインはかっこよくなかった。

水泳学習が近づいてくると、担任の先生から、「ラッシュガードを使ってもいいですよ。デザインも泳ぎにくいものでなければ好きなものを選んでいいです。」

と説明があった。

ほっとしたぼくは、スクール水着ではなく、少しゆったりとした水着を買った。色も好きな紺色を選んだ。それで、安心して水泳学習を楽しむことができた。

ぼくのクラスでは、水着のことで悩んでいる友だちがたくさんいた。でも、みんな自分の選んだ水着を着ることで、久しぶりの水泳学習を楽しんでいるように思った。

ぼくは、みんなの様子を見ながら、ジェンダーレスの水着もいいけれど、みんな同じ水着にこだわらず、好きな色やデザインの水着を使ってもいいのではないかなと考えた。「みんなちがって、みんないい。」の金子みすずさんの詩のように、自分が着る水着だって、それ以外のものも自分の学習しやすいように選んでできるようになれば、もっと自分らしくいられるからいいなと思う。